

# 道徳科学習指導案

指導者 T 1 森永 清司  
T 2 小原 智穂

1 日 時 令和2年 10月 6日(火) 第5校時

2 学 年 第6学年

3 場 所 体育館

4 主題名 信頼し合うほんとうの友達【内容項目B 友情, 信頼】

5 ねらい ロレンゾの3人の友達は、ロレンゾが無実であったことを知りながら、罪を犯したという話を聞いた時に話し合ったことを改めて考えはじめた理由を考えることを通して、ほんとうの友達とは、互いに信頼し合い友情を深めることの大切さに気づき、互いの人格を尊重し合いながら信頼し友情を深め、高め合う人間関係を築こうとする道徳的心情を育てる。

6 教材名 「ロレンゾの友達」 【生きる力 6 日本文教出版】

7 主題設定の理由

## ○主題観・価値観

本主題は、「小学校学習指導要領解説 特別の教科 道徳編」B「友達と互いに信頼し、学び合って友情を深め、異性についても理解しながら、人間関係を築いていくこと」をもとに設定した。

友達は家族以外で特に深いかわりをもつ存在であり、友達関係はともに学んだり遊んだりすることを通して、互いに影響し合って構築されるものである。信頼し合うほんとうの友情は、時間が経ち、住む場所や環境が変化してもなんら変わるものがないつながりである。しかし、近年 ICT の普及により SNS 等で安易に他者とつながることが容易になり、時間をかけて切磋琢磨しながら友情を育む意識が薄れているように感じる。SNS では、自己中心的な思いを一方向的に発信することが多く、その考えを受容してくれる人を「友達」と思う傾向すらあるように思う。このような状況は、本来、互いの人格を尊重し合いながら友情を深め、高め合う人間関係を築く時すら省いてしまう傾向を危惧する。

6年生の段階では、これまで以上に友達を意識し、仲の良い友達との信頼関係を深めていこうとする。自分が困っている時に、相談に乗ったり励ましたりしてくれる友達の存在は、心の大きな支えとなるが、ともすれば趣味や傾向を同じくする閉鎖的な仲間集団を作る傾向もみられる。

友達の意見をそのまま受け入れるのではなく、互いの信頼関係の上に成り立ち、共に時を重ね努力して、信頼し合うほんとうの友情を育む重要性から本主題を設定した。

## ○教材観・指導観

本教材は、友達のロレンゾが、会社の金を持ち逃げした疑いを掛けられ、警察が探しているという話を聞いたアンドレ、サバイユ、ニコライの3人の友達がどのように対応するのがよいのかを話し合う場面から始まる。ロレンゾの疑いは晴れたが、その後も3人は、自分達の考えについて、友

人としてどうすればよかったのか、どう行動すればよかったのか考え始め、ほんとうの友情について考えることができる教材である。

指導に当たっては、導入時に、事前に行った友達に関するアンケートの結果を児童に伝える。

展開前段では、アンドレ、サバイユ、ニコライがどのような思いから発言したのかを考えさせたい。児童には関係図シートを活用させ、グループでシートに考えを書き込ませながら話し合わせたい。その後、ロレンゾは3人の友達について「20年後の今も友として迎えてくれることを確信している。」言葉から深い信頼を寄せているのに対して、3人はロレンゾが罪を犯しているのかという思いにとらわれ、友として変わらぬ思いであることに揺らぎが生じていることに気付かせたい。

中心発問では、ロレンゾが無実であるにも関わらず、もしロレンゾが本当に罪を犯していたらどうすべきだったかを考え始めた理由を考えさせ、「ほんとうの友情とは何か。」について児童の思いから課題を生じさせたい。中心発問では自分と向き合い、考えを道徳ノートに記述した後に発表をさせたい。児童の考えを分類して板書し、児童の考えから、問い(First step)を見だしグループで交流し深めさせたい。グループで深めた考えからさらに問い(Second step)を見だし、多角的な視点としてロレンゾの思いも考えさせ、信頼し合う友達の関係について、深めていきたい。

終末では、吉き舎りプログラムとの関連を生かし、スポーツフェスタに向けた取組の姿から、相互の信頼や努力によって育まれる友情について、自分の生活に関連させて考えさせたい。

## 8 指導のポイント

ステップ	学習展開	ステップの視点	本時の工夫
1	導入	【チャレンジ】 ○課題把握 ○動機づけ(価値または教材)	○アンケート調査を活用した価値への動機付け
2	展開(中心発問)	【考えをあきらかにする】 ○考えの根拠の明確化	○道徳ノートへの記述
3		【さらにさらに問いを見つける】 ○自他の意見への問いの連鎖	○2段階による児童の考えから次の問い(課題)の発見
4		【未来に広げる】 ○自己との関りを深める工夫	○日常生活へ広げる言葉がけ
5	終末	【(明日へジャンプ)学習を振り返る】 ○価値の一般化,自らの生き方への意欲付け	○学習の振り返りからの評価 ○「吉き舎り道徳学習プログラム」の流れを生かした次時への意欲付け

## 9 友情,信頼の発達の段階

	目標	キーワード
低学年	友達と仲よくし,助け合うこと。	友達 友達のよさ 仲良く
中学年	友達と互いに理解し,信頼し,助け合うこと。	友達 理解 助け合うこと
高学年	友達と互いに理解し,学び合って友情を深め,異性についても理解しながら,人間関係を築いていくこと。	友達 相互理解 学び合い 異性についての理解 人間関係を築いていくこと
中学校	【友情,信頼】 友達の尊さを理解して心から信頼できる友達をもち,互いに励まし合い,高め合うとともに,異性についての理解を深め,悩みや葛藤も経験しながら人間関係を深めていくこと。	友達 高め合うこと 異性についての理解 悩みや葛藤 人間関係を深めていくこと

吉き舎りプログラム名	「広げよう・深めよう！仲間のつながりを」	
めざす資質・能力	共感力・コミュニケーション能力・表現力	
めざす児童・生徒像	・友達と互いに理解し合い友情を深める子ども ・友達とよりよい人間関係を築いていこうとする子ども	B…友情，信頼 B…相互理解，寛容 C…よりよい学校生活，集団生活の充実
ねらい	命や友達との関わりを通して，友達と仲良く，助け合おうとする道徳的実践意欲の育成	

広げよう・深めよう！仲間のつながりを

過程	児童の意識の流れ	道徳科	教科・領域・行事
発見 気づき  思考	<p>○ 仲間とのつながりを深めよう。 【問い】 仲間とのつながりを深めるためにどんな思いが大切かな。</p> <p>○ 広い心で仲間と もっと分かり合いたいな。 【問い】 意見の違う友達とよりよい関係を築くために大切な事は何だろう。</p> <p>○ 友達を信頼し合い，友達のために自分ができることは何かを考えていきたい。 【問い】 仲間と盛り上げるスポーツフェスティバルが，学校全体の仲間づくりにつながるようになるためには，どんな思いが大切なのだろう。</p> <p>○ 仲間と信じ合い，自分の役割を果たすことが成功につながるんだ。</p>	<p>教材名「ブランコ乗りとピエロ」 B…相互理解，寛容 【ねらい】 自分の考えや意見を相手に伝えるとともに，謙虚な心を持ち，広い心で自分と異なる意見や立場を尊重しようとする道徳的心情を培う。</p> <p>教材名「ロレンゾの友達」 B…友情，信頼 【ねらい】 よりよい人間関係を構築するためには，信じることが大切であることに気づき，互いに信頼し，友情を深めようとする道徳的実践意欲と態度を育てる。</p> <p>教材名「二十五人でつないだ金メダル」 C…よりよい学校生活，集団生活の充実 【ねらい】 集団の中での自分の役割を自覚し，自分の役割をしっかりと果そうとする道徳的心情を育てる。</p>	<p>特別活動 ◎「さあ，2学期のスタート」 仲間とのつながりを深め，学校全体に広げるための2学期の目標を設定する。</p> <p>特別活動 ◎「スポーツフェスタを成功させよう。」 友達と協力して，スポーツフェスティバルを成功させよう。</p> <p>行事 ◎「スポーツフェスタ」 最高学年として仲間と共に，全校児童をリードし，スポーツフェスティバルを成功させる。</p>
実践意欲	<p>仲間とのつながりを深めていく日々の積み重ねを大切に，最高学年として吉舎小学校の絆を強くしていこう。</p>		

11 準備物 教科書 道徳ノート 発問短冊

12 学習展開

	学習活動	主な発問と予想される児童生徒の心の動き (◎中心発問)	T 1	T 2	指導上の留意点 (☆評価の観点)
導入	1 課題意識をもつ	○ 友達とはどんなものだろう。 ・大切な仲間 ・困ったときには助けてくれる ・支えてくれる	発問 交流	板書	○ 事前アンケートを下に、ねらいとする道徳的価値への動機づけとする。
展	2 教材「ロレンゾの友達」を読んで話し合う。 (1) アンドレ、サバイユ、ニコライのそれぞれの考えと思いを考える。	○ 「ロレンゾの友達」を読んで「ほんとうの友達」について話し合しましょう。  ○ アンドレ、サバイユ、ニコライ、どんな思いで言ったのでしょうか。 <b>アンドレ</b> 【お金を持たせて、黙って逃がす。】 ・友達が警察に捕まるのはかわいそう。 <b>サバイユ</b> 【自首を勧めるが、納得しない場合は逃がす。】 ・罪の理由をきちんと話すべきだ。 ・本人の気持ちを大切にしたい。 <b>ニコライ</b> 【自首を勧め、納得しない場合は警察に知らせる。】 ・罪は罪として償うべきだ。 ・逃げ続けることはロレンゾのためにならないはずだ。	範読  発問	板書  板書	○ 3人それぞれの考えはどんな思いがあるのかを関係図シートを活用しグループで考えさせる。
	(2) 4人の関係を考える。	○ ロレンゾは3人に対して、また3人はロレンゾに対してどのような友達だと考えていたでしょう。 ロレンゾ⇒3人 ・友として確信 3人⇒ロレンゾ ・罪を犯しているのだろうか ・友達だけだと信じていいのか…	発問 実態 把握	板書 実態 把握	○ ロレンゾは3人を友と確信しているが、罪を犯したことで、3人の友達としての思いに揺らぎがあることに気付かせる。
開	(2) 3人が改めて考えたはじめた理由を考える。 【考えをあきらかにする】  【さらに問いをもつ】 <b>First step</b>	◎ 三人は、なぜ、友人としてどうするべきだったのか、どうしていたのだろうかを改めて考えはじめたのでしょうか。 ・友人としてのどうすることが良かったのか。 ・どんな思や行動がロレンゾ（友人）のためになったのだろうか。 ・ほんとうの友達としての言動なのだろうか。 Q1 ほんとうの友達とはどのような友達なのでしょう。 ・相手の立場や気持ちを考える。 ・相手のためになると思うことをする。 ・信じ合える。	発問 実態 把握	板書 実態 把握	○ ロレンゾの無実なのに、3人が自分自身の考えを振り返り、友達としての思いを考えていたことに気付かせる。 ○ 道徳ノートに自分の考えを記述させる。 ○ 個人の考えを発表させ、分類して板書し、課題（問い）把握を支援し、グループ討議をさせる。
	<b>Second step</b>	Q2 3人の考えをロレンゾが聞いたら、4人の友情は変わってくるのだろうか。 ・言われて嫌なことや意に沿わないことでも、自分のことを考えてくれているという思いは伝わる。 ⇒友達（ロレンゾ）も信じているから。 ・その時は受け入れられなくても、先々ではよかったと思えるはずだ。 ・どんなことがあっても支え合える友達だ。 ・本当に相手のことを考えていることが伝わる	発問 実態 把握	板書 実態 把握	○ グループ協議の内容を発表し合い、さらに課題（問い）を設定し、道徳的価値の深化を図る。
	3 自分の生活を振り返る。（内省化） (1) 自分の生活を振り返り未来へ広げる考えを見つける。	○ スポーツフェスティバルの成功に向けて、友達とどのように協力していきたいか考えましょう。	発問	実態 把握	○ 学んだ価値について、分の生活に関連させ広げさせる。 ○ 学びを振り返らせ、

終末	4 振り返りをする。 【未来に広げる】	○ 今日学んだことを振り返りましょう。	発問	道徳ノートに記述させる。 ☆ 互いを信頼し合い、高め合える友達関係を築こうとする道徳的心情を持っている。
----	------------------------	---------------------	----	---

13 板書計画

